校長室より

Respect others（リスペクト　アザーズ）

２５１２０９

今日の人権擁護委員さんからの人権講話でのキーワード「Respect others（リスペクト　アザーズ)」は、とても印象に残る言葉でした。この言葉を聞いて、頭に浮かんだお話があったので紹介します。

イギリスでは、ちょっとしたことにも必ず「サンキュー」ありがとうの言葉をつけ加えるそうです。

デパートで買い物をしたとき、お店の人はもちろん、買った人も笑顔で「サンキュー」と言います。この小さな感謝の言葉と笑顔が、どれだけ人の心をおだやかにしているかわかりません。

また、会社でも、目の前の物を渡してもらったり、エレベーターが閉まりそうになって、「開ける」のボタンを押してもらったりしたときなど、どんな小さなことにも、必ずはっきりと「サンキュー」と言うそうです。

イギリスでは、家族の間でも、何か頼むときは「お願い」、何かをしてもらったら「ありがとう」の言葉を必ずつけるように、小さい頃からしつけられているのです。

みなさんはどうですか？「はっきりと「ありがとう」と言っていますか。日本では、「ありがとう」と言っているつもりになっている人が多いようです。やはり、イギリスのように**言葉に出してちゃんと「ありがとう」と言ったほうが、うれしい気持ちが相手にしっかり伝わる**と思います。これからは、みんなで、いろいろなときに、ちょっとしたことでも「ありがとう」の言葉をたくさん言ってみましょう。

「ありがとう」をはじめとして、**「おはよう」（挨拶）**や、**「はい」（返事）**も、相手を尊重する大切な言葉です。生徒会の取組である「相さつプロジェクト」を通して、「Respect others」を実践していきましょう。